みんなの文芸

榎本順江選　投稿数17句

渓の音牧水と聞く瀞の春

国神　鈴木　正文

(評)瀞を見下ろす旅館の庭に若山牧水の、「渓の音澄みゐて…」歌碑があります。大正九年、牧水は岩畳に佇ち渓の音に触れていました。今、作者も同じ場所に佇ち、風、鳥の声、瀞の響き、渓の音を聞いている。牧水も傍らに居る如く。中七が感慨深い一句です。二句目、長年の勤めも今日で最後、いろいろな思いが溢れる朝の厨に、いつもより賑やかな小鳥達。お疲れ様と囀っている。三句目、戸を開けたとたん鶯の声。誘い込んだ素敵なお客様の声。

囀りの響く厨や退職日　皆野　豊田喜美恵

戸を繰りて鶯の声誘い込む　下日野沢　浅見　豊子

花冷えやセーラー服の重いこと　皆野中一年　太幡琉美花

ひさびさの郷の団らん春炬燵　三沢　新井　民子

鶯や新元号を待ちかねて　三沢　眞下　杏子

遠き日の父母の優しさ春うらら　皆野　根岸　詩子

カラフルな春色並ぶ通学路　皆野　村田ハツ代

株肥えて庭のパンジー色を増す　皆野　引間　千鶴

春の雨大地潤す慈雨となる　下田野　新井　節子

岩つばめ行きつ戻りつ峡の空　下日野沢　新井　進

【4月号の訂正】山里に訃報重なる余寒かな　三沢　眞下　杏子

流氷の尻羽岬や風強し　皆野　戸塚喜久雄

短歌　全16首

保育所に雨風衝きてペダル漕ぐ嫁は看護師復職したり　皆野　引間　万亀

入彼岸秩父賛歌のごとし鳴く鶯の声心いやされ　皆野　戸塚喜久雄

故郷を思い浮べて懐しく耳に残るは機織の音　皆野　村田ハツ代

激震と津波原発災害は昨日の如く八年過ぎも　上日野沢　四方田利男

面差しが亡母(ぼ)によく似た人に会う今宵眠れず思い出を追う　下田野　新井　節子

平成を無事送って万葉の梅の香におう令和に成ぬ　下日野沢　新井　進

来週は中学生になるわけで不安いっぱいがんばれ私　皆野中一年　太幡琉美花

公会堂やさしき体操和やかに号令掛合い楽しくすぎん　国神　藤原マキ子

逝きてはや七年過ぎし弟よ叶ふものなら逢ひ語りたし　下日野沢　浅見　豊子

仲間達晩春の景何処ここと心豊かに体力作り　皆野　関根　助市

霞立つ永き春日を少年とキャッチボールしてこの日くらしつ　三沢　鈴木　貞恵

発表の元号「令和」に沸く一(ぴ)と日新しき御代安寧であれ　三沢　眞下　杏子

待望の雨に山野も潤いて草木の目覚めか動めく大地　三沢　新井　叶子

しののめの空朱く染め洋洋と桜の国の新時代迎ふ　三沢　新井　民子

仕事終え命の水を流しこむ五臓六腑にああ！染み渡る　皆野　石原　達也

平成のラストを飾る桜花散りて令和の薫風を待つ　皆野　打木　昭広

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。

7日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までにみらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

6月号の締め切り：5月10日(金)

問合せ　みらい創造課　☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

新大(あらた)くん
上原区
矢部　良行さん
恵さん

お兄ちゃん達と一緒にでっかい男になれよー☆